

留学生ウィーク開催!

第5回

2011年6月13日~17日



日本語教育センター通信

第2号

フジタ・グローバルラウンジでは、留学生の好きな漢字をデザインした「漢字Tシャツ」、総合政策学部一回生の留学生が制作した四コマ漫画(授業では日本語の四コマ漫画を使って、日本語の四コマ漫画の仕方を学んでいます)等が展示されました。



「どれが一番いいかなあ?」選ぶほうも大変! 交換留学生たちのお国自慢を読み日本人学生へ



その中の一つに、交換留学生が他の国の学生たちを紹介したい自分の国のよいところ、つまり「お国自慢 (Homeland Pride)」の展示がありました。

お国自慢を見た来場者によるアンケートで、栄えある第一位をゲットしたのは、「百万ドルの夜景」を紹介した香港中文大学からの交換留学生チョウ・エステルさんでした。エステルさんには賞品として関学オリジナルUSB、関学エコバッグ、お菓子の詰め合わせがプレゼントされました。ぜひ、みなさんもエステルさんお勧めの百万ドルの夜景を見て下さい。香港へ行ってみて下さい。



Congratulations!

お国自慢トークショー(日本語)

留学生ウィークの一環として行われた「お国自慢トークショー(日本語)」を見学した学部留学生の感想です。

トークショーには八名の学部留学生、一名の交換留学生がプレゼンターとして、二名の日本人学生がコメンテーターとして参加しました。法学部 森本郁代先生と、法学研究科M1の沈佳(シンカ)さんが司会をしてくださいました。



〈森本先生(左)と沈佳さん(右)〉

★ 社会学部(二年)

金 玲キム(ヨシ)

関学にこのように多くの留学生がいるとは思いませんでした。中国や韓国が全てだと思っていましたが、様々な国から来ていることを知り、興味深かったです。発表の中で一番印象に残ったのは、ある中国人学生の発表でした。腕がなく足でピアノを弾く人の紹介でした。その人物がピアノを弾く姿を見ていつも文句ばかり言う自分を振り返る機会になりました。また、その人物自体も印象的でしたが、私は発表者の言葉にも感動を受けました。「誇れるものは、物だけではありません。人も誇りです。」という言葉です。日本に来て、初めて感銘を受けた、忘れられない言葉でした。さらに、韓国人留学生の発表には、いつの間にか応援している自分も見つけました。内容を聞いて、韓国人で良かったとも思いました。「外国に行く」と、愛国者になる。「という言葉が、本当かもしれません。これからも「韓国人」であることが自覚しながら、日本語の勉強に力を入れていきたいと思う機会にもなりました。 ※掲載にあたり、文章の一部を加筆、修正しています。

留学生ウィーク スピーチ発表

留学生ウィークの一環として行われた「スピーチ発表」を見学した学部留学生の感想です。十二名の交換留学生、十二名の学部留学生が日本について発表しました。

★ 経済学部(二年)

趙 云涛(チヨウ ウントウ)

みんなのスピーチを聞きながら、自分の今までの留学生生活が、目の前に映画のように流れてきました。ある発表者は「留学生にとって、三つの大きな問題があります。それはお金・お金・お金です。」と言いました。そうです。「お金があれば何でもできる」とは言えませんが、「お金がなければ何もできない。」というのは事実です。発表者の話を聞いていた先生たちは、お金の話は甘いと感じていたかもしれませんが、留学生の生活は本当にお金次第です。たぶん多くの留学生が私のように、商品の値段を見た後で、自分の国のお金に換算してから、買うか買わないかを決めます。また、アルバイトをしないことと次の学期の学費も払えず、欲しい物も買えません。しかしながら留学生生活は私たち留学生に現実の残酷さを教えたばかりではありません。国際交流や異文化体験の楽しさももたらしてくれました。ただ、今の学生生活にはそのチャンスが少ないということも、スピーチを聞きながら改めて感じました。 ※掲載にあたり、文章の一部を加筆、修正しています。



